

子どものねがい!親のねがい!

昔の親も今の親も、子どもの健やかな成長を願い、子どもにとって良い親であろうとする気持ちは同じです。子どもも親に愛され、また、家族みんな楽しく過ごすことを望んでいます。

「楽しい家庭」を築くには、家族全員が協力し合わなければなりません。子どもにとって心安らく家庭となるために、家庭を見つめなおしてはいかがでしょうか?

家庭教育

すべての教育の出発点です!

基本的な倫理観、社会的なマナー、自立心や自利心などを育成する上で重要な役割を担っています。

「親の学習」の背景となる基本的な考え方

「親の学習」は、「このように子育てをしなさい」と押しつけるものではありません。子育てに関して「どのようなやり方や考え方があるか」を知り、「自分の家庭ではどのような子育てがよりよいのか」をじっくりと考える機会となるものです。

**はじめから十分な子育てができる人はいません。
親も一つずつ学んでいきましょう。**



「親の学習」ではこんなプログラムで進めます。



対象に応じた25のプログラム

対象	内容	プログラム番号
中学生 高校生	家族って何だろう?	1-①
	幼児を知ろう	1-②
	お母さんになるってどんな感じ?	1-③
	子どもを育てるって?	1-④
	乳幼児とふれあう	1-⑤
すべての 保護者	あなたにとっての「子育て」とは?	2-①
	子どもの育ち・子どもの目線で見よう	2-②
	「しつけ」ってなに?	2-③
	父親の出番?母親の出番?	2-④
	地域とのかかわりってなに?	2-⑤
乳幼児の 保護者	はじめまして、こんにちは	3-①
	子どもと一緒に生活習慣をつくろう	3-②
	子どもと遊ぶ	3-③
	こんなときどうするの?どうしたらいいの?	3-④
	ステップ・ハイ・ステップ	3-⑤
小学生の 保護者	6年間の大きな成長	4-①
	子どもが元気になる生活リズムとは?	4-②
	育ちあい、話して深める親子関係	4-③
	社会のマナーやルールは家庭から	4-④
	子どもと夢を語りましょう	4-⑤
中学生・ 高校生の 保護者	子どもでもない大人でもない	5-①
	デートの誘いはありますか?	5-②
	家族との絆・地域へのボランティア	5-③
	「我が子に限って」は危険です	5-④
	今どきの子どもの友人関係?	5-⑤

- 子どもの発達段階にあわせた、埼玉県が独自に開発した25のプログラムを活用して行います。
- 一方的に講義を受ける「座学」ではなく、参加者がプログラムに積極的に関わる「参加型学習」を基本にしています。
- 参加者が小グループを作り、意見交換やロールプレイング、役割演技など体験的な学びを交えて、楽しく学習します。
- 学習をとおして親どうしの交流のきっかけを作ります。交流による親どうしのつながりで、安心も生まれます。
- どの家庭にでもありがちなエピソードから、その登場人物の気持ちを考えて、自分の家庭を振り返ります。ですから、自然に子育てについて学ぶことができます。

「親の学習」プログラム 4-③

育ちあい、話して深める親子関係

親と子を結ぶものはいろいろ考えられます。親子のコミュニケーションは、食事が体をつくるのと同じくらい、子どもの心をつくっていきます。日ごろのあなたの言葉かけは、子どもの心育ちにどんな栄養を提供していますか。ここでは、あなたが投げかける言葉かけについて考え、会話を点検してみましょう。

ワーク 1

あなたのお子さんが学校から帰ってきました。

「テストを返されたよ。」と言って、うつむきながらあなたに算数のテストを2枚渡しました。2枚ともあなたが期待していた点数よりも低い点数でした。以前から点数のことが気になっていたあなたは、お子さんにどんな言葉をかけますか。

次のポイントを参考にしながら、グループで話し合ってみましょう。

ポイント1 子どもはどんな言葉を期待しているのでしょうか。

ポイント2 学習意欲を高めるためには、どんな言葉かけがふさわしいのでしょうか。

ポイント3 子どもが学び方を身につけるためには、どんなアドバイスが考えられるでしょうか。

グループで推薦する言葉かけを選びましょう。

その言葉は、子どもをどんな気持ちにさせますか。

ふりかえり

あなたの会話力について、まとめてみましょう。

①あなたは子どもへの言葉かけで、自分の会話力をどう感じていますか。

よいと思う () まあまあよいと思う ()
ふつう () もう少し伸ばしたい ()

②子どもへの言葉かけとして、自分のこんな言い方をこう変えていきたいと思うところがありますか。

資料

上手にほめる

- 本気でほめる
- ほめるときは、具体的にほめる

上手に叱る

- どうもずいぶん具体的に叱ってあげる
- なぜ叱られているのかわかるように叱る

埼玉県家庭教育振興協議会「～子ども動かし十か条～やる気にさせる親の知恵」(平成14年)

言葉は、言語的な意味と感情をともないます。子どもは、「きちんと、かたづけろね!」と言われた時、言葉の意味とその奥の心の在り方を即座に読み取ります。怒っているのか、片づけるという習慣をつけさせようとしているのかなど、親の心の在り方をどう伝えるかにも気を配る必要があります。